

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 「当院における乾癬の全身治療の動向」に関する探索的観察研究
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部皮膚科 診療助教 井汲菜摘
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 8 （西暦 2026 ）年 3 月 31 日
＜対象となる方＞ 2015 年 1 月～2024 年 12 月までに皮膚科で尋常性乾癬、乾癬性関節炎、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症に対する全身治療（生物学的製剤及び JAK 阻害薬）の治療を行った 18 歳以上の方です。
＜研究の目的＞ 乾癬の治療法に免疫抑制剤の一種である生物学的製剤や JAK 阻害薬があります。それらの治療法は感染症の重症化の懸念があるとされる一方で、近年では感染症のリスクは高くない生物学的製剤が増えてきたことや有効性が高い薬剤が多くなってきたことで全身治療を選択する患者は年々増えてきていました。その中で COVID-19 のパンデミックが乾癬の患者様の治療の選択、継続状況、通院頻度などに影響が生じたのかを調べます。
＜研究の方法＞ データを集計し、統計解析ソフトを用いて治療開始時の年齢、疾患重症度、発症から治療開始までの期間、使用薬剤の割合を検討します。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ 診療記録より、年齢、性別、喫煙歴、合併症、併用薬剤、X 線写真、超音波画像、CT・MRI・アイソトープ検査画像、血液検査データ（血算、免疫生化学検査所見 例えば、白血球数、CRP、赤沈、リウマチ因子）、治療の回数、活動性指標スコア（BASDAI、ASDAS、疼痛スコア、皮膚所見 PPPASI）の情報を使用いたします。
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1） 皮膚科 氏名：井汲 菜摘 電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2502 (PHS) 8194

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

- ①研究を実施される方
- ②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方